

チャレンジ

チャレンジ&スマイル

大仙市立太田北小学校
学校報

2023. 1. 16
〈No.44〉
文責（校長：藤原）

本年もよろしくお願ひ申し上げます



2023年卯（うさぎ）年がスタートして、2週間が過ぎました。冬休み明け初日の朝は、いつも通り登校指導で、子どもたちの元気いっぱいのあいさつに、私も大きな声であいさつをかえすことができました。冬休みを迎える会でお話しした「勉強、健康、お手伝い」はいかがだったでしょうか。

さて、卯年はどんな年かを考えてみました。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。「チャレンジ！ いつもえがおで」が太田北小学校の目標です。卯年の今年は大田北小学校の子どもたちにとっていい年になりそうな予感です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



2人の名監督から

正月といえば「箱根駅伝」です。今年も熱戦が繰り広げられました。そして、第99回箱根駅伝で2年振り8回目の総合優勝を果たした駒澤大学の名将・大八木弘明監督の退任が発表されました。大八木監督といえば、数々の名言を生み出した言葉の達人としても有名です。

「男だろ！」こちらは大八木監督の名言の中でも有名な一言です。この「男だろ！」は大八木監督の代名詞で、この言葉を楽しみに箱根駅伝を観戦されている方も多いと思います。

また、花の2区を走ったエース田沢廉選手は大八木監督の「信じているぞ」という声が一番心に残ったと話していました。

名言つながりでもう少し。冬休みに映画「THE FIRST SLAM DUNK」を観ました。安西先生の名言といえば「最後まで…希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ。」がとても有名です。映画の中では「桜木君がこのチームにリバウンドとガッツを加えてくれた。宮城君がスピードと感性を。三井君はかつて混乱を。のちに知性ととおきの飛び道具を。流川君は爆発力と勝利への意思を。赤木君と小暮君がずっと支えてきた土台の上にこれだけのものが加わった。それが湘北だ。」と選手を鼓舞していました。

2人の名監督から子どもたちにどんな言葉がけをすればいいのかを考えた冬休みでした。

スキー学習が始まります



いよいよ冬休み明けからスキー学習が始まります。冬休み中の降雪でスキー場は十分な降雪量です。もちろんスキー場に行く前に足慣らしとして使用する「国見の丘」も準備万全です。まずは上学年が20日（金）に大台スキー場で滑りますが、指導者やサポート役としてお手伝いいただく保護者の皆様には、たいへんご難儀をおかけしますが、どうかよろしくお願ひいたします。子どもたちの寒さに負けない元気いっぱいの笑顔あふれるスキー学習を私も楽しみにしています。

※本日、「スキー学習の協力について」をお渡ししましたので、よろしくお願ひいたします。